



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社サンドラッグ 上場取引所 東
 コード番号 9989 URL <https://www.sundrug.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 貞方 宏司
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 加藤 好伸 (TEL) 042 (369) 6211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	635,707	5.3	50,330	6.0	36,538	4.9	36,198	5.4	24,231	1.7
2025年3月期第3四半期	603,594	6.6	47,474	7.6	34,819	4.8	34,351	1.7	23,830	4.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 24,237百万円 (-1.6%) 2025年3月期第3四半期 23,863百万円 (-4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	207.15	—	—
2025年3月期第3四半期	203.75	—	—

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	470,184		278,813		59.3	
2025年3月期	444,007		269,713		60.7	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 278,813百万円 2025年3月期 269,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
2026年3月期(予想)	—	65.00	—	66.00	131.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	850,000	6.0	66,775	7.9	47,300	6.3	46,000	4.9	31,700	3.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期 3Q	119,331,184株	2025年3月期	119,331,184株
-------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期 3Q	2,348,285株	2025年3月期	2,363,857株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期 3Q	116,976,784株	2025年3月期 3Q	116,961,169株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、暖冬の影響を受け、特に第3四半期には風邪薬や冬物家電の需要が伸び悩む状況となりました。一方で、米国の通商政策に伴う不透明感が一部に見られるものの、全体としては緩やかな回復基調が続いています。雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加等が回復を支えることが期待される一方、物価上昇の継続による個人消費への影響や、中国からの訪日客減少等、景気を下押しする要因も残されています。加えて当業界におきましては、同業他社との出店競争や大手同士の業界再編、他業態との競争、医薬品販売に関する法改正や規制、物価上昇を背景とした消費者の節約志向の長期化等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き「安心・信頼・便利の提供」をキーワードに、お客様に必要かつ期待されるため、より一層専門性を高め、質の高い新規出店・改装を実施しました。経費面においては、引き続き生産性の向上等に取り組むと共に、環境経営推進にも取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の出店などの状況は44店舗の新規出店と16店舗を閉店いたしました。また、71店舗で改装を行い活性化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の当社グループ全体の店舗数は、ドラッグストア事業1,141店舗（直営店874店舗、㈱星光堂薬局85店舗、㈱サンドラッグプラス76店舗、㈱大屋68店舗、フランチャイズ店38店舗）、ディスカウントストア事業429店舗（ダイレックス㈱429店舗）の合計1,570店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,357億7百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益365億38百万円（同4.9%増）、経常利益361億98百万円（同5.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益242億31百万円（同1.7%増）となり、増収増益となりました。

セグメント業績等の概要は次のとおりであります。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業は、前年同期の反動もあり風邪薬を中心とした冬物季節商材は減少し、売上高にマイナス影響を及ぼしました。一方で、食料品を中心とした原材料価格の高騰に伴う単価上昇や、備蓄米の供給が一部実施されたこと等が寄与し、売上高は前年同期比で増加いたしました。また、前期末からの取引条件改善等により、売上総利益率は0.2pt向上しております。

以上を踏まえ、ドラッグストア事業の売上高は4,072億33百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は212億86百万円（同0.6%増）となりました。

<ディスカウントストア事業>

売上高は、食品部門が単価上昇等の影響を受けて堅調に推移いたしました。また、ドラッグ商材の取引条件改善等により、売上総利益率は0.3pt向上しております。

以上の結果、ディスカウントストア事業の売上高は2,746億円（前年同期比7.1%増）、営業利益は152億51百万円（同11.7%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ261億76百万円増加し、4,701億84百万円となりました。主な要因は商品・有形固定資産の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ170億76百万円増加し、1,913億70百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ90億99百万円増加し、2,788億13百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

(注) 業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	64,956	70,024
売掛金	29,994	32,894
商品	98,413	110,686
貯蔵品	261	264
その他	23,153	23,744
流动資産合計	216,777	237,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	97,106	99,991
その他（純額）	39,599	43,828
有形固定資産合計	136,706	143,820
無形固定資産		
のれん	1,440	1,354
その他	7,228	6,935
無形固定資産合計	8,669	8,290
投資その他の資産		
投資有価証券	34,013	33,204
敷金及び保証金	28,411	28,612
その他	19,433	18,643
貸倒引当金	△4	△0
投資その他の資産合計	81,853	80,459
固定資産合計	227,229	232,570
資産合計	444,007	470,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,731	87,617
短期借入金	1,000	2,500
1年内返済予定の長期借入金	3,800	5,000
未払法人税等	8,180	4,656
役員賞与引当金	98	107
その他	35,696	37,919
流動負債合計	128,507	137,802
固定負債		
長期借入金	33,866	41,465
役員退職慰労引当金	281	284
退職給付に係る負債	2,102	2,232
資産除去債務	7,029	7,118
その他	2,505	2,468
固定負債合計	45,785	53,568
負債合計	174,293	191,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,931	3,931
資本剰余金	7,533	7,577
利益剰余金	263,754	272,699
自己株式	△3,868	△3,843
株主資本合計	271,350	280,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	24
繰延ヘッジ損益	-	0
土地再評価差額金	△1,782	△1,702
退職給付に係る調整累計額	128	127
その他の包括利益累計額合計	△1,636	△1,550
純資産合計	269,713	278,813
負債純資産合計	444,007	470,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	603,594	635,707
売上原価	450,109	472,760
売上総利益	153,484	162,947
販売費及び一般管理費	118,664	126,409
営業利益	34,819	36,538
営業外収益		
受取利息	93	144
受取配当金	9	2
受取保証料	245	256
固定資産受贈益	183	146
その他	287	200
営業外収益合計	819	750
営業外費用		
支払利息	103	259
持分法による投資損失	1,179	817
その他	5	11
営業外費用合計	1,288	1,089
経常利益	34,351	36,198
特別利益		
固定資産売却益	-	82
国庫補助金	216	77
その他	60	28
特別利益合計	276	188
特別損失		
固定資産売却損	6	-
減損損失	257	118
固定資産除却損	109	165
固定資産圧縮損	215	31
災害による損失	8	2
解約違約金	-	92
その他	34	17
特別損失合計	631	427
税金等調整前四半期純利益	33,996	35,959
法人税等	10,165	11,727
四半期純利益	23,830	24,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,830	24,231

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	23,830	24,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	4
退職給付に係る調整額	11	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	2
その他の包括利益合計	32	5
四半期包括利益	23,863	24,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,863	24,237
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	347,287	256,306	603,594	—	603,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,560	10	43,570	△43,570	—
計	390,847	256,316	647,164	△43,570	603,594
セグメント利益	21,166	13,653	34,819	—	34,819

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	361,117	274,590	635,707	—	635,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,116	9	46,126	△46,126	—
計	407,233	274,600	681,834	△46,126	635,707
セグメント利益	21,286	15,251	36,538	—	36,538

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	12,568百万円	13,705百万円
のれんの償却額	86百万円	86百万円